



一般社団法人 日本物流団体連合会
Japan Association for Logistics and Transport

News Release

〒100-0013
東京都千代田区霞が関 3丁目3番3号
全日通霞が関ビル5階
TEL:03-3593-0139
FAX:03-3593-0138
URL:www.butsuryu.or.jp

令和2年12月1日

第22回「物流環境大賞」募集開始

～部門賞が変わります！～

(一社)日本物流団体連合会(渡邊健二会長)は、12月1日(月)より、第22回「物流環境大賞」の募集を開始した。

本賞は、物流部門における環境保全の推進や環境意識の高揚等を図り、物流の健全な発展に貢献した団体・企業または個人を表彰し、環境施策をより一層推進することを目的として平成12年に創設されたもので、今回で22回目となる。

今回は、近年、物流総合効率化法の対象となるモーダルシフト、共同輸配送等の取組みが増加してきたことや、各部門賞の応募状況が変化してきたことなどを踏まえ、本表彰規程について実態に合わせて見直しを行い、より応募しやすくするなどの規程改正をした上での募集となる。

大まかな改正点は以下2点である。1点目は**部門賞の改正**で、物流環境保全活動賞については「低炭素物流推進賞」とし、モーダルシフトや共同輸配送などを主な対象とする。物流環境啓蒙賞については「サステナブル活動賞」とし、全社的な環境保護啓発活動のほか、環境負荷低減に寄与する物流施設、輸送機器の整備なども対象とする。物流環境負荷軽減技術開発賞については「先進技術賞」とし、先進技術の開発だけでなく、AI、IoT、ビッグデータなど先進技術を活用した取組みも盛り込む。さらに、物流環境特別賞については「特別賞」と名称を改める。2点目は**各部門賞の位置付けの明確化**で、大賞以外の各賞の位置付けの明確化を図ることとし、3つの部門賞(低炭素物流推進賞・サステナブル活動賞・先進技術賞)を、大賞の次点として位置付ける。

なお、応募対象は、従来通りで、環境負荷の小さい輸送手段の活用に留まらず、物流部門における優れた環境保全活動や環境啓発活動、あるいは先進的な技術開発・活用など、環境負荷低減の面から物流業の発展に貢献のあった者としている。また、実輸送を担う物流事業者のみならず、環境負荷低減に貢献した利用運送事業者や荷主企業も対象となる。

募集期間は令和3年3月15日(月)までであり、選考委員会による選考を経て、6月に表彰式を行う予定としている。

(詳細 : <http://www.butsuryu.or.jp/public/environment/>)

以上
物流環境大賞事務局 細野